

主にこの年齢のお子様向けのお話です

乳児

幼児

小学生

中学生

高校生

大人へ

切れ目のない
支援のために

No.1

お子様の発達が心配なとき

赤ちゃんを育てていると、心配ごとがつきものです。「ことばがゆっくり」「まだ歩かない」「手をつないで歩けない」「目が合わない」…

お子様の発達について心配があるときは、様々な機会に相談してみてもいかがでしょうか。



宮前区役所・保健福祉センター

場所 宮前区宮前平 2-20-5

児童家庭課

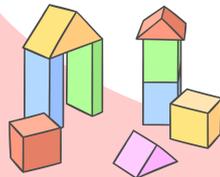
電話 044-856-3240

<乳幼児健康診査>

対象…3か月、1歳半、3歳（保健福祉センター）7か月、10か月（協力医療機関）

日程…区内在住の対象時期のお子様（保護者）へ、封書で健康診査のご案内をいたします。（7か月、10か月は併せての通知となります）

内容…病気の早期発見や発育・発達の確認、保健師・栄養士等による子育ての相談（必要に応じ、お子様の様子を保健師と一緒に見守る教室や、心理職による幼児相談等をご紹介します）



<育児相談（母子コーナー）>

対象…0歳～就学前

日程…対面相談は第3水曜日 9:00～10:00 TEL随時

内容…育児・栄養相談、発育・発達などについて

川崎西部地域療育センター

場所 宮前区平 2-6-1

電話 044-865-2905（代表）

<発達相談・診療・療育>

相談：発達でご心配なことがあればご相談ください。

お電話にてご相談の概要をお伺いし、面接日のご予約をお受けします。（ご相談無料）

診察：医師が診察をおこないます。

専門スタッフがお子さんとお会いします。

療育：診察後お子さんの状態に合わせてご提案します。

言葉が遅く心配で
相談しました。

こんなことで相談
していいの不安で
したが、親身に相談に
のってくれました



Kちゃんママ

NEW!

相談支援センター

平成25年4月開設！

川崎市内各区に4カ所、計9名の相談員

発達に心配のあるお子様や大人の方からの様々な相談に応じ、情報提供をしたり、必要な機関におつなぎしたりいたします。（ご相談無料）

みやまえ基幹相談支援センター

場所：宮前区宮崎 2-6-11 宮崎台パースビルディング A-106
電話：044-750-0581 FAX：044-750-0582

地域相談支援センターポポラス

場所：宮前区宮崎 2-13-35 モア・宮崎 101
電話：044-870-5236 FAX：044-870-5237

地域相談支援センターれもん

場所：宮前区神木本町 5-1-4 エスペランサ宮前 203
電話：044-740-9043 FAX：044-740-9143

地域相談支援センターシリウス

場所：宮前区鷺沼 1-2-1 安藤マンション 403
電話：044-920-9105 FAX：044-920-9106

社会福祉法人 なごみ福祉会

子ども相談室でんでん虫

（この事業は、地域療育等支援事業として川崎市より委託されています）

宮前・多摩・麻生・高津区など川崎市北部を中心に、0歳からのお子さんの心身の成長や発達の心配についてご相談をお受けいたします。心配を長引かせずにお子さんの成長を共に見守っていきましょう。

まずはお気軽に電話又はメールでご連絡下さい。担当スタッフにつなぎます。

面談場所：宮前区土橋 3-1-6

子育て支援センターページブル(さぎ沼なごみ保育園3階)

相談無料・訪問も可

電話：044-911-2612

Mail: denden-soudan@nagomi-fukushi.or.jp

のんびり
ゆっくり
一歩ずつ



相談機関との相性もあるので、遠慮したり、あきらめたりせず、いろいろあためてみましょう。相談しているうちに、気持ちが落ち着いたり、子育てのヒントが得られるかも。

医療機関より

もしかして！うちの子は発達障害？ 2～3歳のお子さんが、診察や健診・予防接種で来院された時に、うちの子は、言葉をしゃべらず自閉症ではないでしょうか？異常に落ち着きが無く注意欠陥多動症候群ADHDではないでしょうか？と相談を受けることがあります。さらに、この子には、早期診断と早期支援を受けさせたいので、ぜひ早い段階で専門病院を紹介してほしい、と訴える方もいらっしゃいます。

発達障害には、早期診断と早期支援に繋げることが重要ではありますが、この年齢では的確な診断が困難なことが少なくありません。不安と焦る気持ちは十分理解できますが、保健福祉センターなどの支援体制の中で、子どもの成長と一緒に見守ることを是非ともお勧めしたい。発達障害の早期支援の意義は、就学前に社会不適応を予防する事にあり、発達の程度にもよりますが、さほど診断を急ぐ必要はないでしょう。

ヒトの社会脳は、ヒトとの関わりの中で育ちます。子どもの発達特性を理解して、子どもの側に立った対応をとることが重要です。また、子どもの良いところを探して褒め認めていくことを繰り返すことで、子どもの自尊心を育てていくことが、いわゆる行為障害などの“二次障害”を防いでいくことに繋がるように思います。

鈴鹿小児科医院 鈴鹿隆久

発行：平成25年10月 制作：宮前区地域自立支援協議会

問合せ：宮前区役所保健福祉センター高齢・障害課 電話：044-856-3304